

明石市立江井島中学校
第3学年 進路・学年通信
NO. 13
平成30年4月24日(火)

心豊かな沖縄人と生きる喜びを共感しよう。。。。

「沖縄ふれ愛感動体験」を知ろう!! [PART.2]

学年通信NO. 12に引き続い、「沖縄ふれ愛体験」の紹介をします。しっかり読んで、どの体験を選ぶのか考えて下さい。最終希望調査です。

3. 沖縄そば打ち＆そばだし作り(試食用)

☆麺打ちからはじめる本格沖縄そば 【受け入れ人数:45名】

沖縄県民が愛してやまないナンバーワンの県民食が沖縄そばです。うどんともラーメンとも違う、独特のコシのあるそばは、中華そばをルーツにもつ小麦粉100%で作るおそばです。

甘辛く煮込んだ豚三枚肉やかまぼこ、そして紅ショウガとねぎを薬味に豚だしとかつおだしのコンビネーションスープでいただきます。材料はどこでも手に入るので、本格そば作りをマスターして体験の成果を家族にふるまいましょう。

【体験者の感想】

沖縄そばは、強力粉だけで作られ、こねるのがとっても楽しかったです。自分達で作ったそばは、とってもおいしかった。お店で食べたそばとの違いも分かり本当に良かったです。



4. 漆喰シーサー作り

☆我が家の守り神シーサーをつくろう

【受け入れ人数:50名】

「シーサー」とは、古代オリエントに起源を持つといわれる魔除けの獅子のことです。エジプトではスフィンクス、シルクロードを通り中国では唐獅子、沖縄ではシーサー、日本本土では狛犬。。。と姿形を変えながら伝來したといわれています。

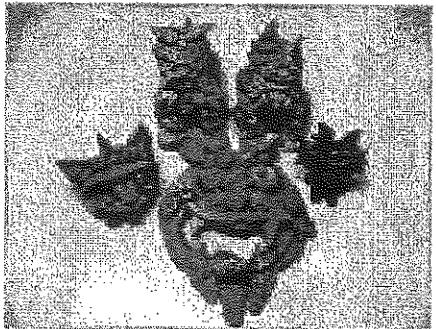
今日の沖縄では、首里城をはじめ、集落、各家庭の瓦屋根や門



など随所でシーサーを見ることが出来ます。ニライカナイでは、「漆喰」と「やむちん（焼き物＝陶芸）」の2通りの方法で自分だけのオリジナルシーサーをつくります。

【体験者の感想】

ずっと気になっていたシーサーを沖縄で作ることが出来た上に、イメージ通りの作品が出来たので嬉しくなりました。送っていただいたシーサーを見て、沖縄のことを思い出しています。



5. ビーチコーミングとマリンクラフト3点作り

☆海岸で拾った材料で環境に配慮したクラフト作り 【受け入れ人数:80名】

白い砂浜に打ち上げられた海からの贈り物を観察するビーチコーミング(浜辺の落し物調べ)。生態系に影響の少ない海の材料などの素材を拾い、アクセサリーやキーホルダーを作ります。

何気なく落ちている海の素材も工夫次第で世界で一つしかない魅力あるアクセサリーへと大変身します。

【体験者の感想】

沖縄の自然が大好きになりました。サンゴのかけらを拾ってキーホルダーやネックレスなどを作った事も将来、何か役に立つと思いました。今回のことを行後の学校生活に生かして、行事など色々と挑戦していきたいと思いました。



6. 本格うたサンシン(三線)

☆沖縄のメロディーをサンシンで奏でよう 【受け入れ人数:40名】

サンシン(三線)が沖縄に伝わったのは14世紀から15世紀の頃です。本土の三味線との大きな違いは、猫の皮ではなく蛇の皮を使用することで、音色も高く乾いた音が特長です。歌と踊りの島と言われるように、芸能を愛する沖縄にとってメロディーを奏でるサンシンは、沖縄の伝統文化、そして暮らしに欠かせないものです。人が集えば、歌と踊りが始まるように沖縄の心であるサンシンをその名手が、工工四(くんくんしー)という楽譜の読み方から、弾き方までを丁寧に指導します。

【体験者の感想】

楽譜の読み方に時間がかかりましたが、優しく指導していただいたおかげで、大好きな「島唄」が弾けるようになりました。選んで良かったです。

